

第16回アジア保全医学会（ASCM）でのポスター発表報告

柴田歩美

アジア保全医学会（asia society of conservation medicine）は野生動物の取り扱い、治療法、環境保全などについてアジアという地域にフォーカスした国際学会である。年1回年次大会が開催されており、今年は韓国の済州島が会場であった。参加者はアジア各国を中心に大学教授、研究機関の研究者、動物園関係者、動物病院のスタッフから学生まで様々なバックグラウンドの参加者が16カ国から288人参加していた。今回この学会で「EAB-277[®] is effectiveness for alopecia racoon dog (*Nyctereutes procyonoides viverrinus*)」についてポスター発表を行ったので報告する。

発表内容は、疥癬症と真菌症を併発し、駆虫薬および抗真菌薬の治療後も著しい脱毛が長期改善しなかった個体への犬用の海洋性脂質サプリメント（EAB-277[®]）の投与効果についてである。

ポスター発表では、同様の皮膚疾患を持つ園館から質問を受けたほか、新たなサプリメントの情報を得ることができた。

また、学会期間中は経験豊富な他園のスタッフと交流し、発表やワークショップを通して様々な症例情報や治療手技を学ぶことができた。この経験を今後の治療に生かしたいと考えている。